

富士山麓の 新たな旅づくり ワークショップ

開催趣旨

「歩く旅」をみんなで作ろう！



富士山麓の新たな旅づくりワークショップとは？

国立公園で目指す「保護と利用」

優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって**国民の保健、休養及び教化に資する**とともに、**生物の多様性の確保**に寄与する。



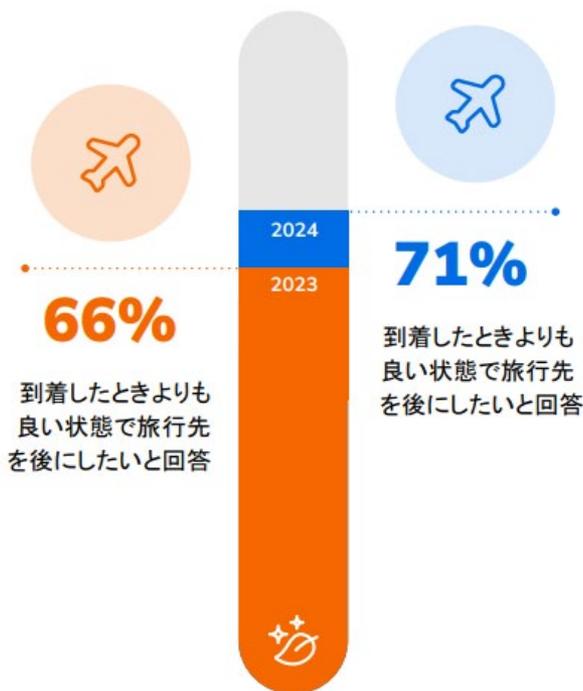
資源の消費だけでなく、保護も同時に進めていく！

世界の旅行者が求めるネイチャーポジティブな旅行

持続可能な観光の新しい方向性

- サステナブルツーリズムに加えて、観光を通じて自然環境や生物多様性に積極的にプラスの影響を与えることが世界で求められています。

サステナブルな
旅行を後押しする
ポジティブな意識



ニュース アクティビティ ガイドインストラクター インスタグラム

「ネイチャーポ
ジティブ」の
プログラム

プログラム

2000円税)



日本の国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」としてブランド化

- ① 日本の国立公園のブランド力を高め、国内外の誘客を促進
- ② 利用者数だけでなく、滞在時間を延ばし、自然を満喫できる上質なツーリズムを実現
- ③ 地域の様々な主体が協働し、地域の経済社会を活性化させ、自然環境への保全へ再投資される好循環を生み出す

富士箱根伊豆国立公園

箱根

富士山麓

伊豆半島

伊豆諸島



太平洋の島々から富士山をつなぐ一大火山群

- 火山地形と地域文化が作り出す多様な景色と風土 -

富士箱根伊豆国立公園

<特徴>

●公園利用者が多い:年間利用者 **1億3千万人!**



富士山麓の新たな旅づくりワークショップとは？

富士山麓で目指したいこと

滞在が短い

長く滞在してもらおう！

アクティビティの
利用が少ない

地域を楽しみ・満足してもらおう！

消費額が少ない

お金を落としてもらおう！

せっかくの自然や文化の
豊かさが伝わっていない
・体験されていない

自然や歴史・文化の魅力
や価値を紹介し、地域と
来訪者を結びつける
ことが必要！

アドベンチャーツーリズム(AT)とは？

アクティビティ、自然、文化体験のうち、2つ以上で構成される旅行

地域独自の自然やありのままの文化を、地域の方々とともに体験し、

旅行者自身の自己変革・成長の実現を目的とする旅行形態

地域をより良く知り、地域の方々と深く接する手段の一つ



アクティビティ

自然

異文化

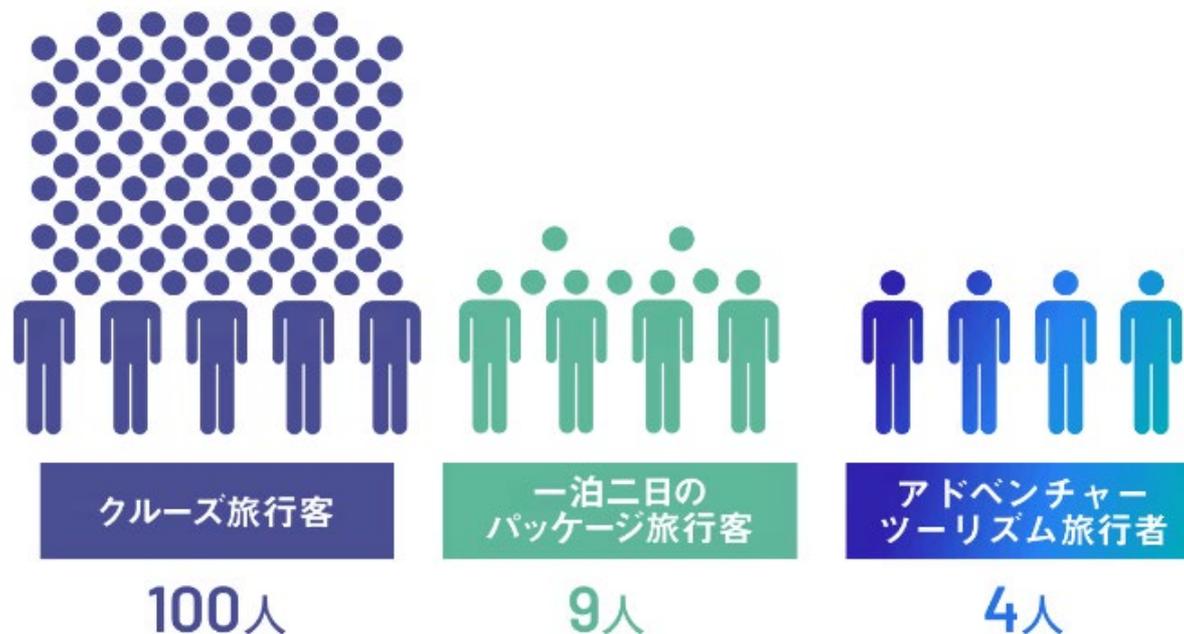
AT旅行者の特徴

- 教育水準の高い富裕層が多い
- 長期滞在(平均14日間)
- 旅行者自身が地域の自然・社会環境のサステナビリティ、地域住民の雇用・所得向上に貢献できるかといった視点を重視

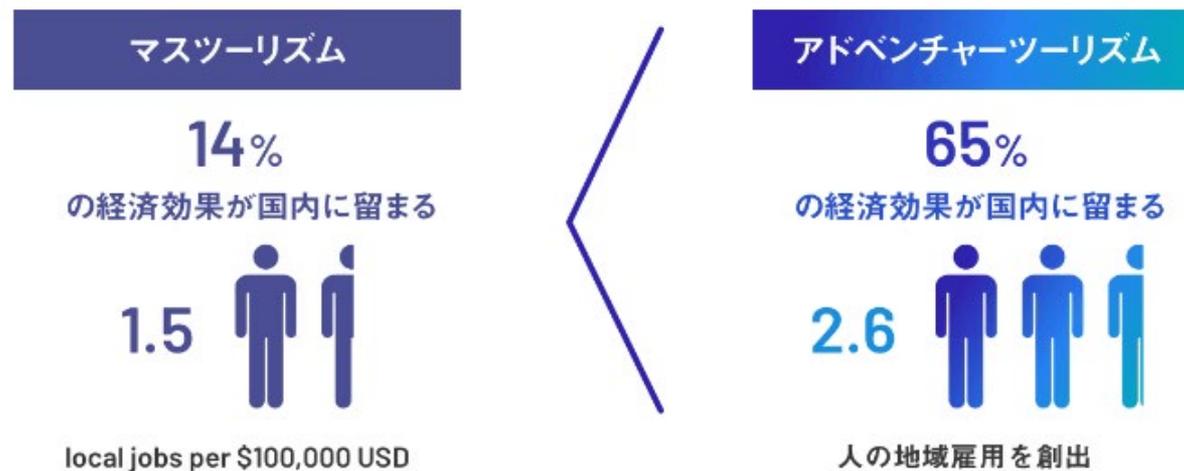


経済波及効果が高い
保護と利用の両立を重視
ローカル経済を重視

10,000米ドルを地域経済にもたらすために必要な旅行客数



出典：Adventure Travel Trade Association



アドベンチャーツーリズム旅行者が今後訪れたい国

	ドイツ	イギリス	フランス	アメリカ	カナダ	オーストラリア	イタリア	スペイン	ロシア
1位	ニュージーランド	日本	日本	オーストラリア	日本	日本	日本	日本	日本
2位	オーストラリア	オーストラリア	カナダ	日本	イタリア	アメリカ西海岸	オーストラリア	アメリカ西海岸	イタリア
3位	フランス	アメリカ西海岸	タイ	ニュージーランド	アメリカ西海岸	ニュージーランド	アメリカ西海岸	メキシコ	オーストラリア
4位	イギリス	ニュージーランド	アメリカ東海岸	イタリア	オーストラリア	イギリス	ハワイ	オーストラリア	ドイツ
5位	イタリア	ハワイ	アメリカ西海岸	イギリス	ニュージーランド	アメリカ東海岸	イギリス	フランス	タイ
6位	アメリカ西海岸	カナダ	イタリア	フランス	フランス	中国	メキシコ	アメリカ東海岸	トルコ
7位	トルコ	トルコ	オーストラリア	スペイン	ドイツ	イタリア	タイ	イタリア	ハワイ
8位	メキシコ	メキシコ	メキシコ	ドイツ	ギリシャ	カナダ	ギリシャ	イギリス	ベトナム
9位	日本	スペイン	スイス	メキシコ	ハワイ	スイス	ブラジル	タイ	スペイン
10位	中国	ブラジル	フィンランド	カナダ	スイス	ハワイ	カナダ	カナダ	メキシコ

アドベンチャーツーリズム旅行者が好むアクティビティの傾向

	ドイツ	イギリス	フランス	アメリカ	カナダ	オーストラリア	イタリア	スペイン	ロシア
食文化体験	73%	68%	72%	75%	71%	62%	72%	73%	58%
文化体験	65%	64%	66%	74%	63%	59%	73%	70%	70%
ハイキング	62%	54%	67%	68%	58%	48%	80%	67%	76%
野生動物観察	47%	60%	65%	65%	60%	55%	60%	58%	69%
サイクリング	57%	47%	36%	44%	45%	41%	37%	38%	52%
トレッキング	30%	48%	33%	39%	35%	43%	51%	69%	23%
キャンピング	34%	34%	36%	43%	43%	40%	34%	39%	34%
釣り	27%	30%	26%	47%	38%	36%	31%	25%	43%
スキー	29%	24%	38%	34%	29%	30%	40%	34%	42%
サファリ体験	33%	34%	32%	31%	35%	35%	36%	28%	26%
マウンテンバイク	30%	26%	41%	31%	28%	26%	45%	31%	26%
カヤッキング	23%	28%	32%	39%	38%	31%	23%	30%	14%
スキューバダイビング	20%	24%	25%	33%	26%	27%	34%	31%	37%
カヌーイング	25%	24%	34%	37%	36%	30%	28%	24%	17%
乗馬	26%	22%	25%	33%	26%	24%	36%	28%	26%
セイリング	23%	22%	32%	40%	32%	26%	24%	26%	17%
ラフティング	18%	21%	24%	29%	24%	24%	23%	22%	21%
SUP	21%	17%	26%	31%	25%	25%	22%	21%	16%
山登り	25%	23%	21%	26%	27%	28%	23%	17%	13%
スノーボード	21%	17%	23%	23%	24%	24%	25%	20%	21%
サーフィン	20%	20%	24%	23%	21%	29%	21%	18%	19%
ロッククライミング	17%	21%	25%	25%	22%	21%	21%	18%	17%
ケイビング	20%	20%	17%	22%	24%	25%	21%	16%	15%
スカイダイビング	19%	13%	20%	21%	18%	21%	16%	16%	16%
カイトサーフィン	14%	12%	18%	23%	13%	23%	17%	15%	10%
ヘリスキー	14%	13%	16%	18%	14%	15%	14%	15%	13%

出典：北海道運輸局「2019年度アドベンチャートラベルコンテンツ造成事業最終報告書」P.55

富士山麓の新たな旅づくりワークショップとは？

自然や歴史・文化の魅力や価値を深く知り、良い利用をしてもらうために
ワークショップを通して、

- ①まずは、自分たちで富士山麓の魅力や本当の価値を深掘りしよう！
- ②富士山麓の魅力や価値をお客様にどう伝えるかを考えよう！
- ③富士山麓の魅力や価値をまとめて、みんなで共有しよう！

作成

1回目	2回目	3回目
10/10 (木)	11/6 (水)	12/12 (木)
13:00~16:00	13:00~16:00	13:00~16:00
地域の魅力を みんなで深掘りしよう！	訪れた人に どんな体験をして ほしいか考えよう！	わたしたちが伝えたい 地域の魅力を ストーリーにしよう！



今回の対象エリアについて

東海自然歩道でつながる富士山麓エリア

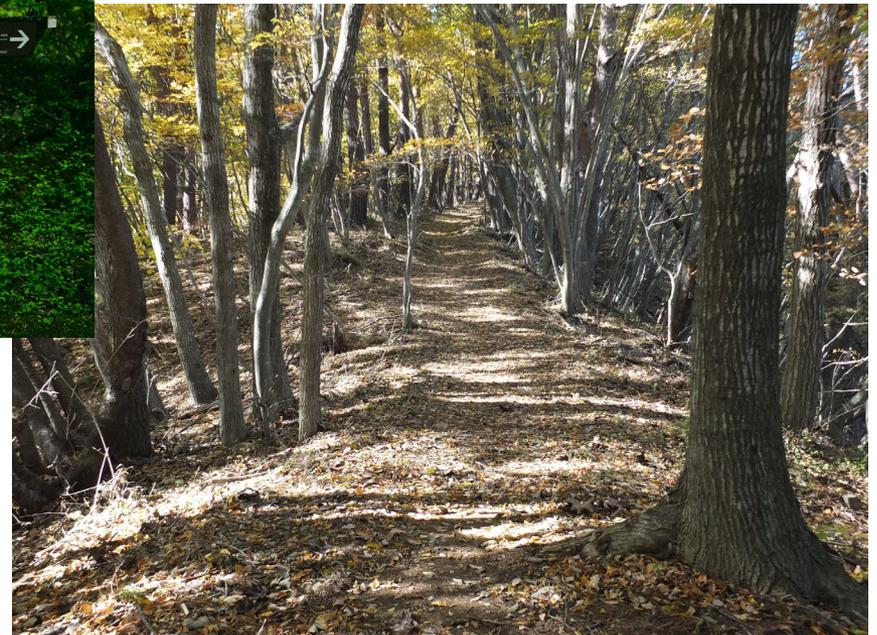
- 東海自然歩道は今年50周年を迎えます。
- 富士山麓も、山中湖から田貫湖にかけて「トレイル」が通っています。



トレイルとは？

「歩く旅」を楽しむために造られた道*1

- ロングトレイルは、登頂を目的とする登山とは異なり、登山道やハイキング道、自然散策路、里山のあぜ道、車道も歩きながら、その地域の自然や歴史、文化に触れる旅。欧米で発祥した文化。



トレイルとは？

「歩く旅」を楽しむために造られた道*1

- 日本でも、熊野古道や四国八十八ヶ所の遍路道など、「歩く旅」の文化は古くからありました。
- ロングトレイルは、健康や自然志向が高まるなかで、近年、注目が高まっています。

日本の主な 長距離自然歩道



日本の主な ローカルトレイル



日本の ヒストリカル トレイル



富士山麓でのトレイルに関する取組み

山中湖トレイルストーリーづくり

- 山中湖村の観光やトレイル等に携わる方々が参加しWS(3回)を開催しました。
- 地域の「想い」を言語化した「山中湖トレイルストーリー」を作成しました。

— 山中湖村トレイルのコンセプト —

山中湖村トレイルのコンセプト

富士、巨石、湖、草原、野鳥
至高の景色

自然と人を未来へ繋ぐ「トレイル」

(解説)

- 『富士』：山中湖村から見える雄大な富士山
- 『巨石』：石割山八合目付近に鎮座する石割神社の御神体
- 『湖』：山中湖村に住む人が「湖」と呼ぶ山中湖
- 『草原』：入会組合による火入れで維持されてきたススキ草原
- 『野鳥』：多様な自然環境が生んだ日本有数の野鳥の生息地

これらのキーワードは全て山中湖村内のトレイル(登山道)から見る事ができ、季節や時間によって変わる至高の景色は、山中湖村に住む人々が日常的に見ることが出来る贅沢な風景であり、観光客が山中湖村を訪れることで体験できる唯一無二の価値です。

そして、人々が山と暮らしてきた歴史や、生活の糧や遊び場となっていた自然を、これからも「トレイル」を通じて未来へと繋いでいきたい、そんなメッセージが込められたコンセプトとなっています。



富士



巨石



湖



草原



野鳥

 みょうしんやま
明神山はススキがたくさんあるから
かくれんぼできる!

 でも、どうしてここだけ
ススキばかりなんだろう?

 昔の人はな、
山菜や茅を採るために野焼きをしたんじゃ。
そして、今でも毎年野焼きをしてススキ草原を守っている。
こんな草原が残されている場所は日本中探しても、
ほとんど見られなくなってしまったんだ。

ススキ草原や森、湖など様々な自然が
「里山」としてバランスよく残っているから、
色々ないきものに出会えるんじゃよ。



ふくろう爺
山中湖の歴史や
文化に詳しい
村の長老

山中湖村の
子どもたち

なぜ、火入れを
するんだろう?
草原はそのままでして
いると草になつてしま
い、茅や山菜が採れな
くつってしまうため毎
年火入れが必要です。
茅(かや)とは?
ススキ等のごで、昔は
屋根や牛などの工支、
のひ料、ねん料など様々
な使われ方をしていま
した。

昔の人は
自然から
どんなものを
得ていた?
この地は気候がき
しく作物があまりでき
なかつたので、周囲の自
然から山菜、まき、野草、
茅まぐさ、田舎牛の糞
にすそ、かたどを採
つてくらしをしてい
ました。

2



3

富士山麓でのトレイルに関する取組み

トレイル整備体験(山中湖)

- 地域の人対象に石割山山頂までのトレイル整備体験を実施



石割山子どもプログラム(山中湖)

- 子どもを対象に山で遊ぶ&遊び場を守る整備体験を実施



筑波大学院 自然保護寄附講座 保護地域管理実習(山中湖)

- 大学院生を対象に保全や官民連携の取組の実習として、整備体験を実施

石割山あそび隊(山中湖):10月20日実施

- 子どもを対象に山で遊ぶ&遊び場を守る整備体験を実施



みんなで作ろう、みんながつかおう

「東海自然歩道でつながる富士山麓エリア」がもっと魅力的になり、ここにしかない質の高い体験ができ、お客様に満足してもらう。地域(すべての関係者、自然や文化)にとっても、持続的な(消費型ではないが、地域経済にも貢献する)良い形で、お客様を迎え続けられるように。

2024年度

今後

1回目	2回目	3回目
10/10 (木) 13:00~16:00	11/6 (水) 13:00~16:00	12/12 (木) 13:00~16:00
地域の魅力を みんなで深掘しよう!	訪れた人に どんな体験をして ほしいか考えよう!	わたしたちが伝えたい 地域の魅力を ストーリーにしよう!



インタープリテーション全体計画は作成して終わりではなく、地域の中で更新し続けるものです。
また、みんなで作ったストーリーを使って、富士山麓の体験コンテンツを実際につくっていく(商品化)ことを目指します。